

作法では人の心を和らげがたい。『母さま、よい人でも愛想のない人たちは天國の何處へやられるでせう』と問ふた小兒の一言深く味ふべしである。

(泰西女訓中の一節別項讀書の榮の紹介を御覽なれり)

### 麻疹のこと

うちつゞく梅雨で、そこいら一面、家の中は見るとものも見るものも、かびだらけ、いや、物ばかりではありませぬ、ほんとに心までが、くしゃくしゃしてかびが生えた様な心地、こんな時には、いろいろの病菌が得たりかして、播殖するものですから、恐ろしい傳染病などが、どしどし蔓延つて來ます。ですから、この時期は、よくよく氣を付けて殊にそこいらを清潔にしなければいけません。

生水は飲まぬ様、食過ぎはせぬ様、寝冷もせぬ様に腹巻をして寝ることなどは、これから夏に向つて殊に氣を付けねばなりません。少しは臭がするけれども捨てるも勿體ないから食べて仕舞ふなどは以ての外の不經濟、不養生、少しでも悪むと思つたら遠慮なくどしどし捨てるのが一番に賢い仕方でありませう。

近來は、兎角異論な病氣がはやる様ですが、子供の間に行流して居るのは、相變らず麻疹です。これは、よく注意の届く家庭や、丈夫な子供に取つては別段恐ろしい病氣でない様ですが、少と弱い子供や、不注意の家庭に這入ると、中々恐るべき結果を生じます。この病氣は大低二才から六才位までの子供を侵すのですが、寧此時分の方が軽くつて、大きくなると反つて重いと申します。傳

染せんの力ちからは頗さる強よくつゝて、とても豫防よぼうする譯わけには行ゆきませぬ。而しかし此病菌このびやうきんの生活力せいりつりきは存外弱ぜんがいじやくいもの  
で、消毒せうどくの仕方しかたも、大低たいてい一日位いちにちくらい衣服いふくや布團ふだんを日光にっけい  
にでもさらせば死滅しめつします。

この症氣びやうきの潜伏期せんぷくきは大凡おほま一週間いちしゅうかんから十日位かじゅうらいで、夫  
が過すぎると何なにとなく子供こどもは元氣げんきがなくなり、食慾しょくよく  
も進すすまず、活潑くわつぱつに遊あそびもしなくなると思おもふと、熱ねつ  
が三十八九度さんじゅうはちじゅうどに昇のぼつて來きます。夫それからして顔かほや手  
足あしにうす紅あかい疹あかが一面めんに出でて來ると、熱ねつが更さらに上のぼ  
つて三十九度さんじゅうきゅうど以上いじやう四十度しじゅうど以上いじやうにもなり咳嗽せきそくも盛まかん  
出いで、眼めも明あかぬ様ようになつて來きますが、發疹はつしんして  
から大低たいてい十日じゅうにちも經すぎるとだん／＼よくなつて回復くわいふく  
向むかふものです。

で、單純たんじゆんな麻疹あせだと、經過けいぐわも單純たんじゆんにすみますが、  
この病氣びやうきは時々ときどき、合併症がっぺいしやう即すなはちお供ともの病氣びやうきをつれ

て見舞みまひに來くるのが定きまりです、最もっとも普通ふつうのは腸加答ちやかた  
兒るで、恐おそろしいのは肺炎はいえんです。其他その他耳みみや眼めの病氣びやうき  
も引ひき起おこすことがありまから、よほど氣きを付つけ  
ねばなりませぬ。

勿論もちろん、どこか病氣びやうきらしいと見たら、すぐ醫者いしやにか  
けることで、偏ひとへに其指圖そのさしず通りにしなくては行いけま  
せぬが、夫それでも尙素人なほしやうじんでも心得こころえて置かかなくつては  
ならぬ事柄ことがらは、

室しつの空氣くわいきのこと、始終しじゆ空氣くわいきを新あらたらしくすること  
を氣きを付つけて、溫度おんどは凡おほそ華氏くわしの六十五六度どか  
ら七十度位ななじゅうどくらいに保たもつて靜しづかに安臥あんわいせしめ置おくこと、  
外氣ぐわいきに當あてるのは甚はなはだよくありませぬ。  
食物しょくじのこと、成なるべく消化せうわし易やすい食物しょくじ、牛乳ぎゅうにゅう、  
ソープ等らう

眼めは時々ときどき、硼散水ほうさんすいで洗あらふこと、

便通に氣を付けること、

咳嗽が甚しければ、吸入を度々すること、

などでせう。尤も、極めて軽くつて濟むのは、大  
 低薬も飲まないでも直つて仕舞ひます、此病氣は  
 待期療法といつて、先づ普通なら、一定の期日凡  
 そ三週間を過ぎれば全快するものです。

## 讀書の朶

賣る方からの廣告には、間々宛にならぬものが多い。時には廣告で見て買つて、飛んだ馬鹿を見る  
 ことがないでもない。賣藥の廣告には、此手のも  
 のが多くつて、心のある人はたゞ其廣告を見て一  
 笑に附する丈けであるが、知らない人は買つて見  
 て始めて覺る。

書物にはそういふのは餘りないとしても、中には  
 随分吹きたて、廣告をして居る、大低は著者の名  
 前と出版書肆の名前とに注意すれば其價値が分る  
 様なもの、夫かといつて、一般の人は必らずし  
 も夫丈けでは分るといへない。そこでこの欄では  
 これから家庭や婦人向きの書物は、眞直に正直に  
 よい所はこんな風だからよい、悪い所は、こゝが  
 悪いといふ風に見ようと思ふ人の爲になる  
 様に御紹介したいと思ひます。

又、他の廣告などで御覽になつた書物で、果して  
 廣告通りのよい本かどうかと御尋ね下さつても宜  
 しい、大低はこゝで詳細に御答へをしたい。又何  
 々のことを知りたいが、参考になる様な書物はあ  
 るまいかといふ風の御答にも出来る丈け御便宜の  
 ある様にしたと思ひます。